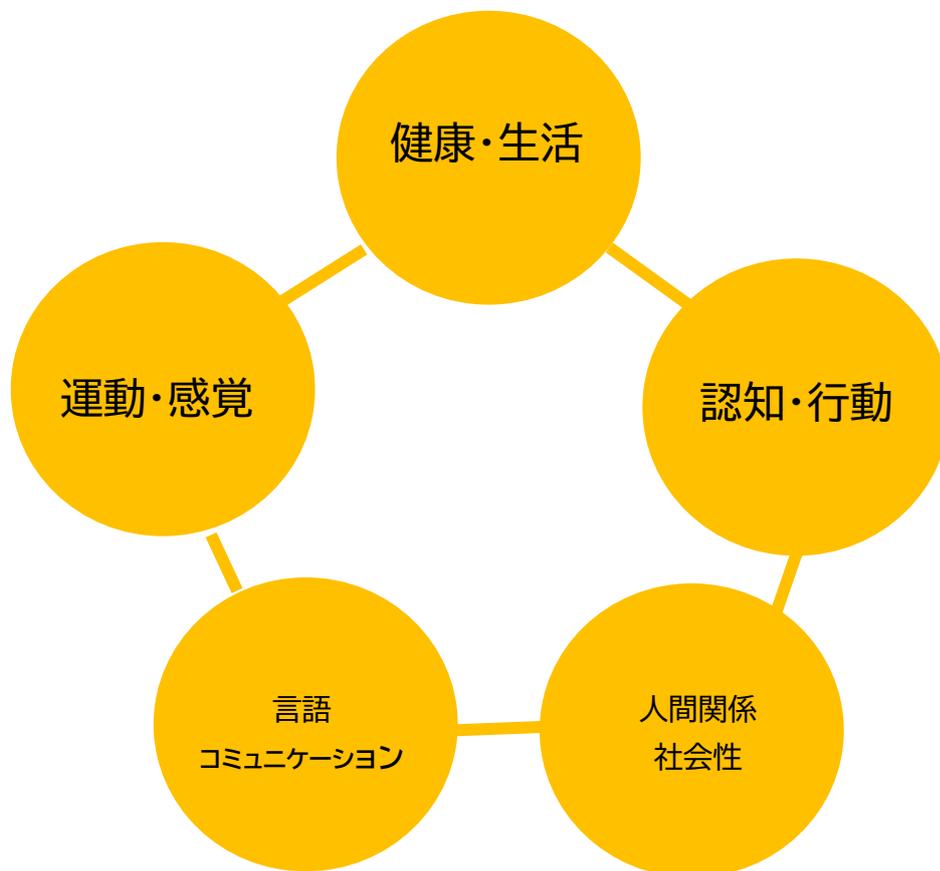


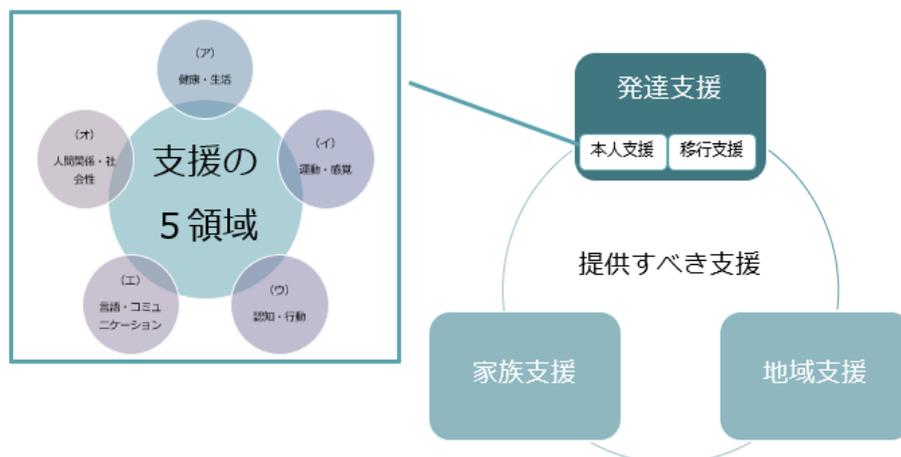
新しい年を迎え放課後等デイサービスミライフルキッズでは、『子どもが将来日常生活や社会生活を円滑に営めるようにする』ために



この5領域を総合的に関連しながら、個々の発達支援に取り組んでいきます。

ミライフルキッズで提供すべき支援は、大きく分けると

【提供すべき支援の全体図】



1. 本人支援の5領域は以上ようになります。日によってプログラム内容は違いますが、一例として…

<p>健康・生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の維持・改善 ●生活リズムや生活習慣の形成 ●基本的な生活スキルの獲得 <p>→来所時、毎回検温。自分自身で検温表に、お熱を書きます。口頭での質問により、健康状態を確認します。</p>
<p>運動・感覚</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●姿勢と運動・動作の向上 ●姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ●遊戯や体操など自分の体が上手に使えるようになること <p>→早い下校の月・水・金曜日、登所後、集団活動の中でラジオ体操、サーキットトレーニングなどの運動療育により筋力の維持・強化を図っています。ケガをしにくい体の使い方を習得します。</p>
<p>認知・行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●物事の理解 ●空間・時間・数当の概念形成の習得 ●場面にあった行動の習得など学習に繋がること <p>→プログラムの前に、子どもの中から司会者を選抜。そこで、一緒に日付・天気などを質問形式にしたり、提示をすることで数の概念の習得を図っています。</p>
<p>言語 コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自分に気持ちを伝える力 ●相手の発信を受け止め理解する力・やり取りする力、共感する力など人とのコミュニケーションが上達すること <p>→プログラム中、5分以上はマンツーマンで支援を実施しています。指導員からの声掛けをしながら、言語を受容し表出する支援を行っています。集団活動においては、伝言ゲームをし正しく相手に伝える練習。あるいは、こんな時どうする？といった場面設定をし、子ども達からの考え方を引き出しています。</p>
<p>人間関係 社会性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●他児との関り、仲間づくり(人間関係)の形成 ●自己理解と行動の統制 ●集中力・好きなことを見つける(趣味) ●嫌な事の対処法 ●ルールを守るなど社会の中で人と過ごす力を伸ばすこと <p>→早い下校の月・水・金曜日、登所後、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援しています。カードゲームなどを取り入れています。また勝敗のあるゲームを取り入れ、仲間意識を培えるような活動を促しています。</p>

2. 年齢に合わせた 4 つの支援

自己肯定感	<ul style="list-style-type: none">●自分自身を理解する●自分の良いところや成功した経験を思い出す●自分のやりたいことや好きなことを積極的に行う●周りからの肯定や支援がある環境を作る●適切な心理的サポートを受ける
達成感	<ul style="list-style-type: none">●興味関心を持つ対象に没頭できる環境を与える●ゴールが明確な物事に取り組んでみる●適切な目標を設定できるようにアドバイスを行う
仲間形成	<ul style="list-style-type: none">●児童期・青年期における仲間形成の促しをする <p>→学年別での活動等</p> <p>高学年が多いことから就労プログラムとして、就労事業所の見学、事業所内では、お仕事をし給料(報酬)をもらうという意識づけをするために、役割分担(お仕事)を提示し自分でお仕事を選択し実行。ポイント制にして、ポイントが1000P たまった方は、自分で好きなおやつを購入するという活動を行っています。</p>
孤立の防止	<ul style="list-style-type: none">●家庭支援とも組み合わせながら孤立しないような対応をする

以上のことを組み合わせながら、一人ひとりに寄り添い、そしてご家族のケアもしながら支援していければと思います。

お子様も、ご家族も一番は「心の余裕」です。その余裕を持てるように、ミライフルキッズで出来ること、夢を持てるような形で支援出来ればと思います。

